

「overdo」



高木農園 高木 智美

◆ニンジン愛

高木農園、秋の大収穫祭が絶賛！開催中です！

八月お盆前から人参の収穫がありました。今年一番最初の収穫作業です。

農園の人参収穫は一〇月下旬まで七、一〇日間隔で約一〇回ほどあります。

生産して居る中でも、人参は機械収穫し機上選別。そして共選施設にて洗われ規格選別されてから初めて正品がどのくらいかわかる。

農園の農産物の中でも栽培が難しいと感じています。



【収穫を迎えたニンジン。状態はとても良いと思います。】

まさに収穫期の現在。今年は人参は安値が続き、JAようていでも出荷調整が入り、選別を厳しくしなければなりません。

畑の廃棄された人参がいつもより多く、人参色に染まっていくのはとても苦しい。

しかし、人参の話題は悲しい事ばかりではありません。

一〇五号で書いた「規格外人参を使った繊維専門商社との商品開発の話」

あれから話が進みまして……農業女子プロジェクトの一つとして、規格外人参がTシャツとして生まれ変わる事になりました。

春に規格外人参のサンプルを送り、それはパウダー状になり、生地に染められ出来上がったTシャツはまさに元気な人参色！

人参はどうしても食卓の主役というよ

高木 智美 (たかぎ ともみ) さん

- ・昭和53年生まれ 後志管内京極町出身
- ・家族構成は夫と夫の両親、子供2人の6人家族
- ・平成12年実家で就農、平成18年結婚、平成20年両親から経営移譲を受ける
- ・羊蹄山麓の京極町で畑作中心に32haの経営
- ・北海道若手女性農業者団体「LINKS」、農業女子プロジェクトなどに参加
- ・平成28年から個人で栽培、販売している白小豆が商品化。「白小豆どら焼き」として、まずは地元で愛される商品になるように、コンセプトは「地恵地楽：ちけいちらく（地元の恵みを地元で楽しむ）です！



り脇役。一般家庭での消費量も馬鈴薯や玉葱に比べると劣る。

同じく規格外人参を加工にして商品を考えても、ジュースやジャムはすでに多くの人が取り組んでいて、そこに参入するのは困難で混戦です。

私としても規格外人参を使って商品として生まれ変わるのには心から嬉しい事です。

「切る野菜から着る野菜へ」 | food-textile (フードテキスタイル) |

このプロジェクトは人参の他に六つの野菜を加え、七色を展開して一〇月の販売に向けて調整中となっております。

最後の号で販売がどのようになったか、書けるといいなあと思います。

これから季節の変わり目。体調を崩して風邪を引きがちになりますが、風邪予

防にはニンジンが一番！一番効率よく栄養を吸収するのは、油で炒める調理法。

また、炒めると甘みの元になるブドウ糖がより強く感じられ、食べやすくなります。

にんじんは毎日食べていても、栄養素の過剰接種などの心配がいない野菜です。なので、意識的に毎日食べ続けていくのもおすすめです。

◆夏のイベント盛りだくさん

◇軽トラ・マルシェの事

前号に書いた、京極町での軽トラマルシェは七月第二・第四土曜日に開きまして、今年は終了致しました。初めてやってみて、考えさせられる事がとても多かったです。

主幹産業が農業の町ですが、町民の方に京極町で採れる農作物の「旬」の認知が薄い事。

これは近隣の大型スーパーなどで、い

つも取り揃えが良くなつて様々な産地で野菜が店頭に並べられている事が当たり前になってきているからでしょうか。

今は常温、冷蔵、冷凍など物流が二一ズに合わせ、多様になっているから品揃えも豊富になってきてます。私自身も一消費者として、スーパーを活用していますし、今回のマルシェでは、多品目の野菜を集める事の大変さがよく理解できま

す。
産地の「旬」が認知されていない。薄い。メディアが悪い訳でも農協の周知不足でもなく、便利になってきた今の世の中なので、どうしようもない事かもしれません。

また来年も軽トラマルシェは続けて行く予定です。来年のマルシェのポップには京極町の農産物の「旬」カレンダーを載せると少しづつ理解して頂けると思います。

◇ 農業女子プロジェクト

今年、農業女子プロジェクトで参加しているのは、先に書いた「株式会社 豊島様との 規格外野菜を使ったTシャツ」と「丸山製作所 背負動力噴霧機の開発」の二つ。

丸山製作所のプロジェクトは七月二八日東京にて二回目のミーティングを開き参加してきました。一〇月のプレス発表までに仕上げるようです。課題はまだ多々ありそうですが、農業者のみならず、愛され売れる動力噴霧機になるといいなあと期待を込めます。

◇ きょうこく楽しみ隊 ピアガーデン

八月十一日（山の日）の祝日に京極町商工会議所の駐車場スペースで、綿密に計画を立てていた「二日限りのピアガーデン」を開催！

楽しみ隊では商工メンバーが中心となって開催に向け、飲み物、食べ物の各

グループに別れ試行錯誤しながら、町民の方が楽しめるようにと準備をしてまいりました。

飲み物もアルコールも生搾りソーや運転手のお母さん達の為にノンアルコールビールやジュースの種類も増やし、焼きそば、ジンギスカン、フランクフルト、



【きょうこく楽しみ隊のピアガーデンの様子】

フライドポテト、ケバブ、カキ氷、クレープ、たこ焼き」とたくさん取り揃えました。

当日は十二時スタート！高木農園では「茹でたて枝豆」と「野菜販売」軽トラマルシエを、

調理した物を販売するのは初めてで、申請書類や器具のことを商工会議所の職員の方や隊員のメンバーに色々聞いて準備をしてまいりました。

枝豆は京極町では低温続きで生育が遅れ、蘭越町で枝豆を生産されている、大友健さんから買取りました。栽培に力を入れているだけあって、大友健さんの枝豆は一六kg全て完売！終了の二一時までには、他のブースもほぼ売り切れに。

更に、ライブ活動をしている女性の生歌演奏、夜になってからはアームレスリング俱知安支部の方の協力を得て、子供部・男性の部・女性の部に分かれ、アームレスリング大会も開かれ、この夜

は本当に盛り上がりを見せていたと思います。

アームレスリング大会、女性の部ではちやっかり私が優勝してしまいました（笑）。

ご来場の皆様、ピアガーデンに来て頂き本当にありがとうございます！楽しみの隊のメンバーも本当にお疲れ様でした！次も京極町で京極町民が大いに楽しめる企画にしていきたいと思えます。

◇ 農協女性部の協力参加

盆祭り。農協女性部は「京極盆踊り」を踊ります。小学生以来の盆踊り。大人になった今でも何となく覚えているものでした。お淑やかに、

◇ 道南農業試験場場長 加藤淳先生現る

白小豆を栽培するうちに以前からお話をしたかった加藤先生と今年三月に会う機会がありまして、白小豆や農商工連携

で商品になった白小豆どら焼きの話を生としました。

八月に入り、先生が農園に来て直に白小豆を見に来てくれました。滅多にない機会にアレもコレも聞いてみたい事をたくさん質問。一つ一つ丁寧に答えて頂きありがとうございます。

先生！白小豆は順調に生育してます！収穫までもう少し。適期を逃さず刈り取り、島立して、二週間以内に脱穀しまーすっ！

◇ 北海道若手女性農業者団体

LINKSイベント

二〇一五年から「農業女子Fightプロジェクト」日本ハムファイターズとLINKSのコラボ企画があり、今年で三年目。今回は札幌ドームの試合開始前のグラウンドで五分間のトークイベント！…に恐縮ですが、札幌ドームに行ってきた！



【リンクスのイベントの参加】

「羊蹄山麓の京極町で、この札幌ドームの建築面積と同じ、五・五haの面積のニンジンを作ってます！」としっかり伝えてきました。

もう一つ。八月二四～二六日の三日間は札幌東急百貨店で「LINKSマル

シェ」を南口エントランスにて開催。二六日は私は売り子で参戦！

ほぼ一日中、立って声をかけ対面販売。正直楽しいです。農園の売り物はありませんでしたが、メンバーの一生懸命作った農産物をお客様に勧め、お買い上げしていく姿を見てみると、嬉しさが込み上げてくるのは、なぜでしょう。

しかし、さすが百貨店です。カリスマ主婦達が多いです。華やかさがあります。京極町でも、もう一台くらい軽トラで参加する方がいたら、来客も増えるかなあと……いやいや。背伸びせず、無理せず頑張ります。

◆ 題名の意味

overdo: やり過ぎという意味です。書いたイベントや出来事他に、衆議院議員さんが農園にお越しになられたり、趣味である登山へ子供と一緒に京極町から三〇〇km離れた場所の雌阿寒岳へ

行ったり。

イベントの準備も含めると今年は本当に外出が多いです。

なるべく泊まりにならないようにと日帰り東京へ行ったり。そうすると疲労が蓄積されて仕事にも支障が出ます。

家族の手厚い協力があったからこそ外出ができる訳です。でも正直、甘えていた部分もあります。「頼まれるうちが華」と都合良く脳内変換しました。家族には心からの感謝と深い謝罪をします。

「いつもありがとうございます！そして、本当にごめんなさい」

私が家族に出来る事は、収穫を無事に終わるように、効率良く、段取り良く、気を抜かず、頑張ります！